市政に関する一般質問

産業振興　西口商店街の活性化にタウンマネージャーの活用を

蒼政会　坂本賀一

問　商店街が活性化している状態というのは、人をひきつける店があり、その結果、人でにぎわうということ。それが契機となり、新規の店も増えてくる。西口商店街の活性化策として、毎日商店街に来て、実際に自らも働くタウンマネージャーのような専門家を雇用する考えはないのか見解を伺う。

答　商店街活性化のために専門家を配置することは有効だが、まずは、意欲のある人材の育成・確保を優先すべきと考えている。国や県において各種支援制度があるので、商店街と協議を行って合意ができれば、その制度を活用して活性化に向けた勉強会の立ち上げや計画作りに対するコーディネーターの派遣を支援したいと考えている。なお、商店街活性化に係るタウンマネージャーの雇用支援については、今後、他団体の先進事例を調査研究し、進めていきたいと考えている。

建設行政　合併処理浄化槽の汚泥処理料金の見直しを

蒼政会　前嶋里奈

問　合併処理浄化槽の維持管理費が高額となっているのは、汚泥処理場への搬入料金が千葉県内で2番目に高いことが原因の一つと考えられる。汚泥処理場への搬入料金は、昭和55年から35年間変わっていないとのこと。本市は、公共下水道・農業集落排水・合併処理浄化槽と地域によって汚水処理方法に違いがある。汚水処理における利用者負担の公平性という観点からも、汚泥処理料金の見直しが必要であると考えるが見解を伺う。

答　合併処理浄化槽の汚泥処理料金については、山武郡市広域行政組合から、処理コストに基づき適正に算出されていると聞いている。しかし、合併処理浄化槽維持管理費補助金制度の普及及び浄化槽法第11条の法定検査受検率の向上から、経営努力により値下げができるものであれば、行政組合へ要望していきたいと考えている。

建設行政　汚水処理事業を推進し生活環境の改善を

蒼政会　松戸　進

問　市街地に隣接する堀上・川場地区については、当初、公共下水道による面整備を計画し一部工事も実施した。しかし、現在は計画が見直され、合併処理浄化槽の設置により汚水処理を行う区域となっている。単独処理浄化槽や汲み取り式の便所から合併処理浄化槽に切り替えるには、多額の費用がかかるが補助金等はあるのか。また、家庭からの生活雑排水が道路わきの側溝に滞留し悪臭を放っている。改善が必要だと思うが見解を伺う。

答　汚水処理については、単独処理浄化槽や汲み取り式便所から合併処理浄化槽に切り替えることで、し尿はもとより生活雑排水まで処理が可能となる。切替工事費用については、一部を国・県・市で補助する制度があるので積極的に活用推進したい。また、流末となる水路についても、土水路のままでは周辺にいろいろな影響を及ぼすので、極力構造物による整備が必要だと考えている。

産業振興　東金ショッピングセンター「サンピア」に対する支援を

蒼政会　今関正美

問　本市の商業活動の中心となっている東金ショッピングセンター「サンピア」は、ジャスコが撤退するのではないかとささやかれてから久しい。幸いにして現在も営業活動が継続されているが、入居しているテナントの大半が変動している。徐々に営業を続ける店が減っていくのではないかと危惧するが、商店街の活性化を維持するという視点から「サンピア」に対する何らかの支援をする考えはないのか見解を伺う。

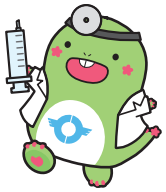
答　現在、サンピアは、国の補助制度を利用して3分の2の補助金と3分の1の自己資金という形で耐震改修を計画している。市としても「サンピア」については、中心市街地に存在し求心力が高く、重要な商業施設と認識していることから、この耐震工事に対して何らかの支援を行うことを検討したいと考えている。

地域医療　東千葉メディカルセンターの受入体制と麻酔科医の確保状況は

陵志会　石﨑公一

問　東千葉メディカルセンターの24時間、365日の救命救急センターの受入体制を伺う。また、麻酔科医は、非常勤で対応していると聞いているが、救急の対応、手術等に影響はないか伺う。

答　救急の受入体制は、当直医師として救急科1名、各科から1名の基本2名体制で対応しており、緊急時にはオンコールにより救急科、各科の医師も対応できる体制としている。また、当直医師については、週2日（火・金）千葉大学からの非常勤医師が対応している。また、麻酔科医については、麻酔科医師の資格を持つ常勤医師3名と非常勤医師2名等で手術及び救急手術に対応しており、適切な医療を提供できている。



産業振興　みのりの郷東金への意見等への対応状況は

陵志会　宍倉敬文

問　来客者から「高齢者の休憩場所、椅子等が少ない」「野菜の品揃えが少ない」「レストランのメニューが少ない、開店時間が遅い」など意見を耳にするがどのような対応状況となっているか。また、アンケート箱を設置しているのか伺う。

答　現在、椅子・机のセットは直売所正面入り口に、椅子については屋根付屋外イベント広場にも設置している。野菜の品揃えについては、市内農業者へ更なる営業をかけ、出荷者・出荷量の増加を図っているところである。レストランメニューは6月から東金市産の米を使ったメニューを追加し、レストランの開店時間は10時に早めた対応としている。また、アンケート箱は4月7日より設置しているが、設置場所が判りにくいとの意見等により、設置箇所を2ヶ所とし来客者に分かりやすい場所に置いて対応している。

一般行政　圏央道源サービスエリア・スマートIC設置は

東金みらい　清宮利男

問　市長選の街づくりの政策で「働く場を増やし交流人口と定住人口を増やす街づくり」を掲げ、その取り組みの一つに「源SA・IC設置」により市中心部へのアクセスを向上させるとしている。大網白里市や茂原市もスマートICの申請をしたと聞いており、近隣自治体と連携し早急に設置に向けて行動していただきたいと思うが見解を伺う。

答　源地区にサービスエリアを設置することは、周辺施設からの距離や位置的にも十分に検討の価値はあるものと考えられる。また、スマートICを併設することで地域の方々の利便性が大きく向上し、周辺道路の整備を行うことで新たな観光客の誘致ルートとしての活用や企業誘致等による経済的な発展が期待できる。現時点では、構想段階であるため、まずは市内部で十分に計画を検討し、関係機関との調整や近隣市町との連携を図りながら、進めていきたい。

福祉行政　高齢者に生きがいづくりの提供を

東金みらい　佐久間治行

問　最近、園芸福祉という言葉が広く使われるようになってきた。高齢者が近隣の方々と協力して野菜や花を栽培し、収穫した野菜を食べたり花を自宅に飾ったりすることは、生きがいづくりに大変有効なことだといわれている。高齢者が地域の中で安心して生きがいを持って暮らせる地域であってほしいという思いから、この園芸福祉の導入について見解を伺う。

答　高齢者保健福祉計画や介護保険事業計画の策定にあたり、昨年年度末、高齢者に対しアンケート調査を行った。現在、その集計を行っており、高齢者の意見等を把握したうえで、高齢者が生きがいを持って安心して暮らせるよう調査結果を活用したい。野菜や花の栽培を通して仲間づくりや楽しみを共有する園芸福祉は、高齢者の生きがいづくりや健康保持、孤独感の解消、さらには認知症予防等に効果を持つといわれており、高齢者への支援のあり方の一つとして、検討したいと考えている。

市役所1階ロビーで本会議をご覧いただけます。

市役所1階のロビーに設置されたテレビで、本会議の様子をご覧いただくことができます。